

竹久夢二展

—描くことが生きること—

2007年1月20日(土) ▶ 2月25日(日)



〈立田姫〉 昭和6年(1931年) / 紙本着色二曲一隻 / 夢二郷土美術館蔵

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

http www.ccma-net.jp



メランコリックな女性像や愛くるしい童画、斬新なデザインなどで知られる竹久夢二(1884~1934)は、没後70年あまりを経た今もなお高い人気を持ち続けています。現代にも通じる作品そのものの魅力もさることながら、印刷媒体によりイメージを流布させた作家としてのありかたや、同時代の若者たちへの影響力の強さなど、その存在は近代にあって誠に希有であり、芸術家としての評価は近年ますます高まっています。

この展覧会は、竹久夢二の代表作を集め、その全体像を改めて探ろうとするものです。夢二の芸術家としての生涯を投稿家時代(1905-09年)から晩期(1930年代)までの五期に分け、それぞれの時代ごとに、肉筆画を中心に版画・装幀本などもあわせて展示し、作風の変遷を辿ります。

「夢二式美人」を創始した夢二、弱きものに共感を寄せる社会派としての夢二、「夢二学校」のカリスマとしての夢二、デザイナーとしての夢二、詩人あるいは文章家としての夢二など、約350点の作品から多才な芸術家竹久夢二を検証します。



- ◆ 会期 2007年1月20日(土)~2月25日(日)
- ◆ 会場 千葉市美術館7階展示室
- ◆ 主催 夢二郷土美術館・千葉市美術館・和歌山県立近代美術館
- ◆ 開館時間 月曜日~木曜日、日曜日 10:00~18:00 / 金・土曜日 10:00~20:00
* 入場受付は閉館の30分前まで
- ◆ 休館日 第1月曜日(2月5日)
- ◆ 料金 一般800(640)円 / 大高生560(450)円 / 中小生無料
* ()内は前売り及び団体30名以上の料金
* 前売券はJR東日本の主な窓口・びゅうプラザ、千葉市美術館ミュージアムショップにて販売

◆ 関連イベント

※ 講演会「社会主義思想と竹久夢二との接近」

1月21日（日）／14：00より／11階講堂にて

講師：飯野正仁（山梨英和大学非常勤講師）

先着150名／聴講無料

※ アンティーク着物によるファッションショー「夢♡コレ」

2月10日（土）／15：00～・16：00～の2回開催（内容は同じです）／11階講堂にて

コーディネイトおよび解説：大野らふ（Ponia-pon代表）

*竹久夢二が一世を風靡した時代の着こなしをショー形式でご覧いただけます

各回先着80名／観覧無料

*15歳以上の女性を対象に「夢♡コレ」の出場モデル10名を大募集！

詳しくはホームページをご覧ください、☎043-221-2311までお問い合わせください

※ スライドトーク「デザイナーが見た夢二」

2月12日（月・祝）／14：00より／11階講堂にて

講師：セキユリヲ（デザイナー） 協力：有限会社ea

*夢二のデザインを現代のプロダクツによみがえらせているセキユリヲさんから、映像をまじえたお話をうかがいます

先着150名／聴講無料

※ 担当学芸員によるギャラリートーク

1月26日（金）、2月9日（金）、2月23日（金）／14：00より

*チケットをお持ちの上、7階展示室入口にお集まりください。

※ 美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

毎週水曜日／14：00より

*チケットをお持ちの上、7階展示室入口にお集まりください。

◆ 交通案内

○ JR千葉駅東口より

- ・ 徒歩約15分
- ・ 千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分
- ・ バスのりば⑦番より大学病院行、南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分

○ 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

○ 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ貝塚ICを出て国道51号線を千葉市街方面へ約3km広小路交差点近く

○ 地下に駐車場があります

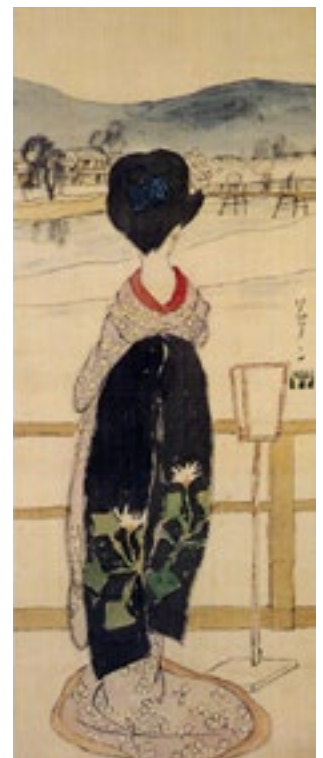
◆ 同時開催

「鈴木鷺湖 幕末に活躍した郷土の画家」2007年1月20日（土）～2月25日（日）

*「竹久夢二展」のチケットをお持ちの方は無料でご覧いただけます。



〈草に憩う女〉 大正初期
絹本着色一幅／静岡市蔵



〈加茂川〉 大正3年（1914年）頃
絹本着色一幅／夢二郷土美術館蔵

□この資料についての問い合わせ先
千葉市美術館 学芸課 西山純子
〒260-8733千葉市中央区中央3-10-8
TEL：043-221-2313／FAX：043-221-2316／E-MAIL：nishiyama@ccma-net.jp



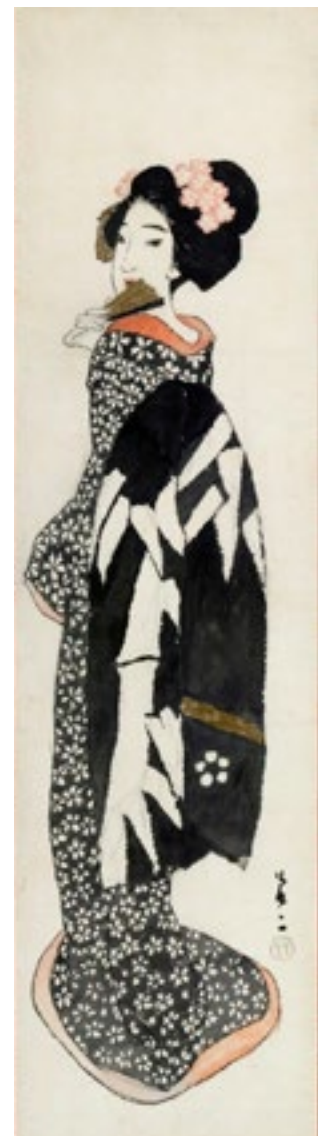
〈秋のいこい〉 大正9年（1920年）／紙本着色二曲一隻／夢二郷土美術館蔵



〈小春〉〈治兵衛〉 大正3年（1914年）／木版多色摺／千葉市美術館蔵



〈千代紙 いちご〉 大正3-4年（1914-15年）／木版多色摺／個人蔵



〈舞姫〉 大正7年（1918年）／紙本着色一幅／個人蔵



『鈍める花』（北川千代子著）昭和2年（1927年）／装幀本／竹久夢二美術館蔵